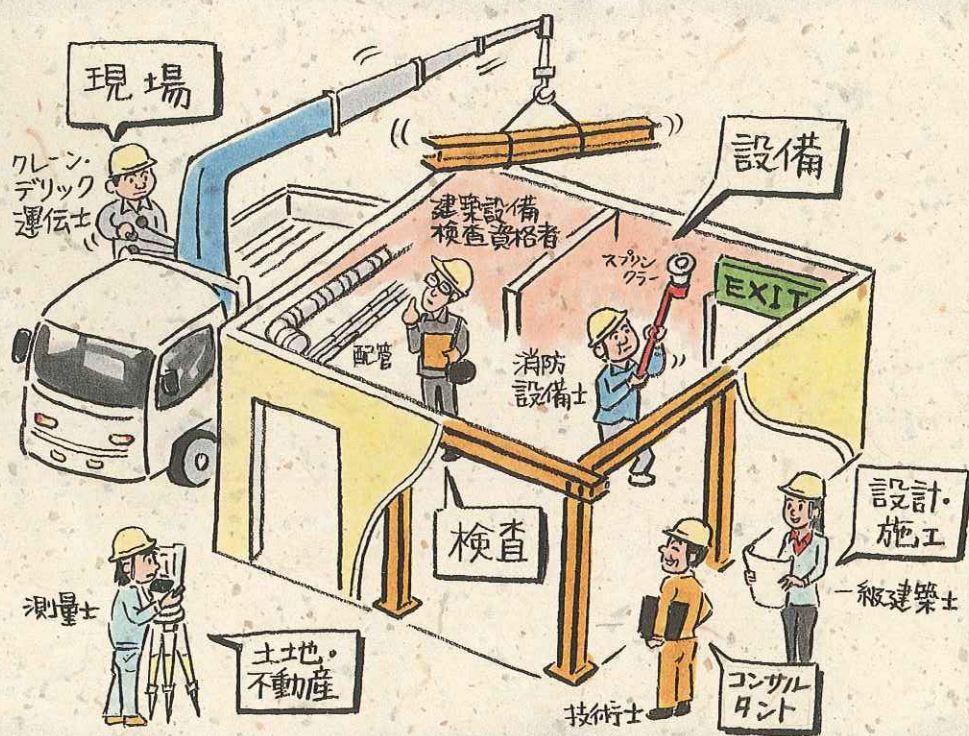


特集 「資格」の取り方・使い方 建築は資格でできている?!

建築士を取り巻く状況は、社会的な立場の獲得とは程遠く、耐震強度偽装事件が象徴するように地に堕ち泥にまみれはしたけれど、ようやく白日の下にさらされた法の初心は、幸いまだ現状からさほど遠くはない(速水清孝・建築史家)。住宅(建物)に関する知識のない消費者は、性能だけを提示されたところで、判断が困難なのだ。消費者が求めているのは、自分たちの立場でアドバイスをしてくれる専門家の存在である(長嶋修・不動産コンサルタント)。



速水清孝「建築士の資格はプラットフォームにも似て」

江原幸吉「構造設計一級建築士? 設備設計一級建築士? 派生資格乱立の背景」

長嶋修「中古住宅のプロ=ホームインスペクターで、設計者の技術・知識を生かせ」

中谷ノボル「タテ割りの資格をヨコにつないで、暮らし全体をコーディネート」

「合格者輩出が目的ではない、

「社会が求める設計者」を養成」総合資格学院

クローズライン |

法政大学

55・58年館

解体の危機!

歴史あるキャンパスが
人を育てる

各地域に拠点を置く設計事務所の
作品集

建築集



オープンハウス⑩ |

SKY FORTRESS

— 河野有悟

現代建築家批評(終)

建築の根源 白井晟二
— 布野修司

クリエイターの権利を
守り、つくる

— 作田知樹

オピニオンの視線

— 伊郷吉信

明治築の巨大な下宿屋
「本郷館」を愛する人々

— 論評

